

PROGRAM NOTE

2004

近藤 譲：汎音

12 本又は 24 本のフルートのための

Pamphonos

for 12 or 24 Flutes

12 本又は 24 本のフルートのための《汎音》(Pamphonos)は、2004 年に、フランス・フルート・オーケストラの委嘱で作曲され、同じ年にパリで、彼等の演奏によって初演された。

曲題の「パンフォノス」(直訳すれば、「汎音」)は、古代ギリシャの音楽用語で、「全声」の意。又、「全ての声を尽くして」というその意味の延長として、「表現的な」という意味合いをも持っている。古代ギリシャの詩人ピンダロスの叙事詩には、次のような一節がある：「女神(アテーネー)は、その真なる友を罨から救うにあたって、アウロスの全声(パンフォノス)を響かせ、それによってエウリュアレーの貪欲な顎から迸る騒々しくも悲嘆に充ちた叫び声を模倣したのだった。」

近藤 譲

初演：2004 年 6 月 (パリ、フランス)

初演者： Pierre-Alain Biget (指揮) Orchestre des Flûtes Françaises (Paris, France)

委嘱： Orchestre des Flûtes Françaises (Paris, France)

出版： University of York Music Press (UK)

演奏時間： 10 分